

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2007-535471(P2007-535471A)

【公表日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2006-509122(P2006-509122)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/30	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/30	Z N A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

OX-2/CD200が被験者中でアップレギュレートされるかを決定するための組成物であって、該組成物は、OX-2/CD200又はOX-2/CD200レセプターへ結合するポリペプチドを含有する組成物。

【請求項2】

OX-2/CD200又はOX-2/CD200レセプターへ結合するポリペプチドを含有する、OX-2/CD200がアップレギュレートされる症状を治療するための組成物。

【請求項3】

OX-2/CD200又はOX-2/CD200レセプターへ結合するポリペプチドを含有する、癌を治療するための組成物。

【請求項4】

OX-2/CD200又はOX-2/CD200レセプターへ結合するポリペプチドを含有する、CLLを治療するための組成物。

【請求項5】

OX-2/CD200へ結合する抗体を含有する、請求項1～4いずれか1項記載の組成物。

【請求項6】

OX-2/CD200へ結合するモノクローナル抗体を含有する、請求項1～4いずれか1項記載の組成物。

【請求項7】

OX-2/CD200レセプターへ結合する抗体を含有する、請求項1～4いずれか1項記載の組成物。

【請求項8】

OX-2/CD200レセプターへ結合するモノクローナル抗体を含有する、請求項1～4いずれか1項記載の組成物。

【請求項9】

悪性癌細胞によりアップレギュレートされるポリペプチドの代謝経路を妨害する抗体を含有する、癌を治療するための組成物。

【請求項10】

上記抗体はアップレギュレートされるポリペプチドへ結合する、請求項9記載の組成物。

【請求項11】

上記抗体は、アップレギュレートされるポリペプチドが相互作用するレセプターへ結合する、請求項9記載の組成物。

【請求項12】

上記抗体はポリペプチドの発現を調節する抗原へ結合する、請求項9記載の組成物。

【請求項13】

上記ポリペプチドはOX-2/CD200である、請求項9記載の組成物。

【請求項14】

ポリペプチドの発現が悪性癌細胞によりアップレギュレートされることを特定するために癌患者をスクリーニングするための組成物であって、該組成物は、アップレギュレートされるポリペプチドの代謝経路を妨害する抗体を含有する、組成物。

【請求項15】

前記患者は、CLL患者を含む、請求項14記載の組成物。

【請求項16】

前記患者のスクリーニングは、OX-2/CD200のアップレギュレーションの検出を含む、請求項14記載の組成物。

【請求項17】

前記抗体は、OX-2/CD200へ結合する、請求項14記載の組成物。

【請求項18】

前記抗体は、OX-2/CD200が相互作用するレセプターへ結合する、請求項14記載の組成物。

【請求項19】

前記抗体は、OX-2/CD200の発現を調節する抗原へ結合する、請求項14記載の組成物。

【請求項20】

SEQ.ID.Nos:5、12及び13からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR1領域を有する抗体を含有する、請求項1～4、9又は14いずれか1項記載の組成物。

【請求項21】

SEQ.ID.Nos:21及び23からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR2領域を有する抗体を含有する、請求項1～4、9又は14いずれか1項記載の組成物。

【請求項22】

SEQ.ID.Nos:29、37及び38からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR3領域を有する抗体を含有する、請求項1～4、9又は14いずれか1項記載の組成物。

【請求項23】

SEQ.ID.Nos:50、55及び56からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR1領域

を有する抗体を含有する、請求項 1～4、9 又は 14 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 24】

SEQ.ID.Nos: 69、74 及び 75 からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖 CDR2 領域を有する抗体を含有する、請求項 1～4、9 又は 14 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 25】

SEQ.ID.Nos: 88、93 及び 94 からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖 CDR3 領域を有する抗体を含有する、請求項 1～4、9 又は 14 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 26】

SEQ.ID.Nos: 5、12、13、21、23、29、37、38、50、55、56、69、74、75、88、93 及び 94 からなる群から選ばれる一以上の配列を含む抗体を含有する、請求項 1～4、9 又は 14 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 27】

ヒト化抗体を含有する、請求項 1～4、9 又は 14 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 28】

Fv、scFv、Fab' 又は F(ab')2 を含有する、請求項 1～4、9 又は 14 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 29】

抗体が結合する抗原を特定する方法であり、CLL患者から採取した組織を使用して得られる抗体ライブラリーを作成するステップ；

上記ライブラリーの 1 以上の構成員を、ATCC 受託番号 PTA-3920 として寄託された細胞系 CLL-AAT の溶解産物と接触させるステップ；及び

上記ライブラリーの少なくとも 1 の構成員へ結合する抗原の特徴付けをするステップ；を含有する、方法。

【請求項 30】

上記ライブラリー作成ステップは、CLL細胞を有する非ヒト有機体又はその一部を免疫化することを含む、請求項 29 記載の方法。

【請求項 31】

上記ライブラリー作成ステップは、合成抗体ライブラリーを CLL 細胞又は CLL 細胞系とパンニングすることを含む、請求項 29 記載の方法。

【請求項 32】

上記ライブラリーは、ファージディスプレイによりスクリーニングされ、ライブラリー構成員を単離する、請求項 31 記載の方法。

【請求項 33】

上記ライブラリーは、1 以上の CLL 患者から単離された原発性 CLL 細胞とパンニングされる、請求項 31 記載の方法。

【請求項 34】

更に CLL 細胞上でアップレギュレートされる抗原へ結合する抗体ライブラリーの構成員を特定するステップを含有する、請求項 29 記載の方法。

【請求項 35】

上記抗体ライブラリーの構成員は OX-2/CD200 へ結合する、請求項 34 記載の方法。

【請求項 36】

ATCC 受託番号 PTA-3920 として寄託された細胞系 CLL-AAT 中の細胞を使用して得られる抗体ライブラリーを作成するステップ；

上記ライブラリーの 1 以上の構成員と CLL 患者から採取した組織からの細胞の溶解産物とを接触させるステップ；及び

上記ライブラリーの少なくとも 1 の構成員へ結合する抗原の特徴付けをするステップ；を含有する、抗体が結合する抗原を特定する方法。

【請求項 37】

非ヒト有機体を CLL 患者から採取した組織からの CLL 細胞の少なくとも一部で免疫化するステップ；

上記非ヒト有機体の免疫化に対する免疫反応を基礎として抗体ライブラリーを構築するステップ；

上記ライブラリーの1以上の構成員とCLL細胞とを接触させるステップ；及び

上記ライブラリーの少なくとも1の構成員へ結合する抗原の特徴付けをするステップ；を含有する、抗体が結合する抗原を特定する方法。

【請求項38】

上記ライブラリーの1以上の構成員とCLL細胞とを接触させるステップは、上記ライブラリーの1以上の構成員とCLL患者から採取した組織からの細胞の溶解産物とを接触させることを含む、請求項36記載の方法。

【請求項39】

抗体が結合する抗原を特定する方法であり、
非ヒト有機体をCLL細胞の少なくとも一部で免疫化するステップ；
上記非ヒト有機体の免疫化に対する免疫反応を基礎として抗体ライブラリーを構築するステップ；
上記ライブラリーの1以上の構成員とCLL細胞とを接触させるステップ；及び
上記ライブラリーの少なくとも1の構成員へ結合する抗原の特徴付けをするステップを含有する、方法。

【請求項40】

CLL細胞によりアップレギュレートされる抗原へ結合する抗体。

【請求項41】

上記抗原はOX-2/CD200である、請求項40記載の抗体。

【請求項42】

SEQ.ID.Nos:5、12及び13からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR1領域を含有する、請求項40記載の抗体。

【請求項43】

SEQ.ID.Nos:21及び23からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR2領域を含有する請求項40記載の抗体。

【請求項44】

SEQ.ID.Nos:29、37及び38からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR3領域を含有する、請求項40記載の抗体。

【請求項45】

SEQ.ID.Nos:50、55及び56からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR1領域を含有する、請求項40記載の抗体。

【請求項46】

SEQ.ID.Nos:69、74及び75からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR2領域を含有する、請求項40記載の抗体。

【請求項47】

SEQ.ID.Nos:88、93及び94からなる群から選ばれる配列を含む軽鎖CDR3領域を含有する、請求項40記載の抗体。

【請求項48】

SEQ.ID.Nos:5、12、13、21、23、29、37、38、50、55、56、69、74、75、88、93及び94からなる群から選ばれる一以上の配列を含有する、請求項40記載の抗体。

【請求項49】

上記抗体はヒト化抗体である、請求項40記載の抗体。

【請求項50】

上記抗体はFv、scFv、Fab'又はF(ab')2である、請求項40記載の抗体。

【請求項51】

ATCC受託番号PTA-3920の下で寄託された、細胞株CLL-AAT。

【請求項52】

抗体を調製するための方法であって、該方法は、以下の工程：

(i) 請求項51に記載のC LL細胞株の表面上に提示される少なくとも1つの抗原に対する抗体を作製する工程；および

(ii) 該抗体が、C LL細胞関連抗原に結合することを決定する工程、を包含する、方法。

【請求項53】

前記決定する工程が、前記抗体がC LL細胞上でアップレギュレートされる抗原に結合することを決定することを含む、請求項52に記載の方法。

【請求項54】

前記決定する工程が、前記抗体がC LL細胞に特異的な抗原と結合することを決定することを含む、請求項52に記載の方法。

【請求項55】

前記抗体が、請求項51に記載のC LL細胞株またはその一部での生物の免疫によって作製される、請求項52に記載の方法。

【請求項56】

前記抗体が、請求項51に記載のC LL細胞株を用いて、合成抗体ライブラリーをパニングすることによって作製される、請求項55に記載の方法。

【請求項57】

前記ライブラリーを、ファージディスプレイによってスクリーニングして、前記抗体を単離する、請求項56に記載の方法。

【請求項58】

C LL細胞に結合する抗体を特徴付けるための方法であって、該方法は、請求項51に記載の細胞株に対する抗体の結合を評価する工程を包含する、方法。

【請求項59】

前記抗体が、C LLに罹患している1人以上の患者から単離された初代C LL細胞を用いて、抗体ライブラリーをパニングすることによって単離される、請求項58に記載の方法。

【請求項60】

請求項52に記載の方法によって產生される、抗体。

【請求項61】

請求項51に記載の細胞株によってアップレギュレートされる抗原に結合する、抗体。